

よいや～の風にのって



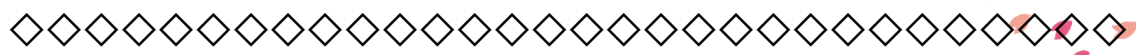
——令和7年4月7日(月)No.1——校長 東原 宏章——

「令和7年度のスタートにあたって」

橘湾からの柔らかな潮風。咲き誇る桜。高城台小学校の新たな1年が始まりました。私たち教職員は、高城台っ子たちと出会えるこの日を心待ちにしていました。

保護者の皆様、地域の皆様、高城台っ子一人一人が「しなやかに、たくましく」成長できるよう、教職員一丸となって子供たちの指導・支援にあたっています。

今年度も本校の教育活動へのご理解ご協力のほど、よろしくお願いしま
す。



始業式では、校長として子供たちに次のようなことを話しました。

「皆さんには、だれもが『助けて』と言える学級を作ってほしいと願っています。

困ったとき、心の中のどこかがモヤモヤしてきたとき、もうこれ以上前に進めなくなったとき、だれもが『助けて』と言える学級を作ってほしい。

『助けて』と言うことは決して恥ずかしいことではありません。『助けて』という人は心が弱い人ではありません。

しかし、これまで、私は、『助けて』と言えずに、悩みを抱え込んだり、学校に行きづらくなったりした子供たちを見てきました。そのような子供たちを支えることができなかったときは、大変悔しい思いをしました。

皆さんも大切な仲間が苦しんだり、学校を休んだりすることはつらいことでしょう。ですから、新しい仲間や先生方と力を合わせて、誰もが「助けて」と言いやすい、そのような学級を作ってほしいと願っています。

私も皆さんや先生方、保護者や地域の皆さんと力を合わせ、知恵を出し合い、誰もが『助けて』と言える学校を作っていこうと思っています。」